

## 第5章 本県農工商教育の活性化・魅力化に向けた取組方策

### 1 本県における人材育成の基本理念

「徳島教育大綱」（令和元年8月策定）の基本方針「未知の世界に果敢に挑戦する，夢と志あふれる『人財』の育成」を具現化するため，「未来を切り拓いていく人財」，「新たな価値を創造していく人財」，「地域を輝かせる人財」を育成することを基本理念とし，「徳島ならではの」の農林水産業，工業，商業に関する教育による人材育成を行う。

### 2 産業界等が求めるもの（徳島県農工商教育活性化・魅力化協議会委員からの意見をまとめたもの）

#### （1）人材像

- 専門分野の基礎・基本を身に付け，他者と協働し主体的に行動できる人材
- 地域に貢献したい気持ちが強く，仕事に対して前向きな取組ができる人材
- 幅広い知識と教養を身に付け，コミュニケーション能力のある人材
- 自己管理能力が高く，挨拶の習慣や礼儀作法が身に付いている人材
- 何に興味があり，何がしたいのかという自己分析ができている人材

#### （2）農林水産業，工業，商業に関する教育への意見

- 実社会で活躍されている先輩方から話を聞いたり，産業現場を実際に見たりする機会を多くつくることで，地元産業界の魅力を伝え，将来自分が働く姿をイメージさせ，自分の判断で進路決定することにつながる。
- 高校教員が徳島の企業のことを知り，それを進路指導に生かすために，地元産業界との連携による実践的な教員研修の機会を充実させる。

### 3 徳島ならではの農林水産業，工業，商業に関する教育

#### （1）農林水産業に関する教育

※農業には林業を含む。

##### ○教育目標

農業及び水産の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業や農業関連産業及び水産業や海洋関連産業を通じ，地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①農業及び水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
- ②農業及び水産や海洋に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，農業及び水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

##### ○育成する人材像

安定的な食料生産の必要性や農業のグローバル化への対応など農業を取り巻く社会的環境の変化を踏まえ，農業や農業関連産業を通して，地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。

水産物の世界的な需要の変化や資源管理，持続可能な海洋利用など水産や海洋を取り巻く状況の変化を踏まえ，水産業や海洋関連産業を通して，地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。

## ○育成を目指す資質・能力

### ①知識及び技術

- ・農業生産や農業経営の分野，食品製造や食品流通の分野，国土保全や環境創造の分野，資源活用や地域振興の分野について，体系的・系統的に理解するとともに，農業に関する個別の知識や技術だけではなく，社会の中で活用する知識や技術などと相互に関連付けられる知識と技術
- ・海洋漁業分野，海洋工学分野，情報通信分野，資源増殖分野，水産食品分野について，体系的・系統的に理解し，水産や海洋に関する基礎的・基本的な知識，技術及び技能とともに，実践的・体験的な学習活動を通して，社会的意義や役割を含めた関連する技術
- ・将来の職業を見通して，よりよいものを創造できるよう発展的に学び続けることにつながる知識と技術

### ②思考力，判断力，表現力等

- ・利益や効率，成果だけを優先するのではなく，農業や農業関連産業に関する課題を発見し，科学的な根拠に基づき答えを導き出す力
- ・農畜産物の生産活動や販売及び地域環境の保全や管理などの活動の中で，見いだす様々な課題に対し思考しながら解決を図る力
- ・水産業や海洋関連産業に関する課題を発見し，職業人としての倫理観をもって，科学的根拠，経済性，社会資源及び環境への影響などを踏まえ，合理的かつ創造的に解決する力

### ③学びに向かう力，人間性等

- ・他者との協議により課題の解決策を見だし，他者の考えを踏まえながら，自己の意見を整理し，伝える力
- ・社会の信頼を得て，農業や農業関連産業及び水産業や海洋関連産業に従事するための倫理観，遵法精神，規範意識，責任感，協調性，リーダーシップなど

## ○活性化・魅力化に向けた取組方策

### 【方策1】地方創生に資する人材の育成

- ①地域と連携・協働し，人材育成を図る社会に開かれた学校づくりを推進する。
- ②地域理解を深め，地域の課題解決を図る\*プロジェクト学習を充実する。
- ③地域や産業界，高等教育機関等と連携した6次産業化教育や起業家教育を推進する。
- ④グローバル人材の育成のため，地域から海外へ視野を広げる教育を推進する。

### 【方策2】先端技術に触れる教育の推進

- ①地域や産業界、高等教育機関等と積極的な連携を図り、スマート農林水産業等先端技術に対応した学習を推進する。
- ②インターンシップや就業体験を通して、専門性の向上やキャリア教育の充実を図る。
- ③各種大会参加や資格取得を奨励し、高い専門性を持ったスペシャリスト、アグリマイスター及びマリンマイスターの育成を図る。

### 【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進

- ①「つくる責任、つかう責任」を踏まえ、持続可能な生産とともに、環境、人、社会、地域などに配慮した「エシカル消費」を推進する。
- ②「GAP」や「\*HACCP」の教育を通して、食品安全、環境保全、労働安全等を維持向上させる教育を推進する。
- ③伝統文化の継承、絶滅危惧種の保護活動、シードバンクの取組など郷土の自然や文化を次代につなぐ教育を推進する。
- ④農林水産業に関する教育の特質を生かした防災教育を推進する。

### 【方策4】農林水産業に関する教育の効果的な魅力発信

- ①児童・生徒、社会人に農林水産業の魅力を感じさせる体験活動や地域交流活動の充実を図る。
- ②効果的なPRにつながる体験入学やオープンスクール、学校説明会等の実施を工夫する。
- ③ICTを活用し、ホームページ等での情報発信の充実を図る。

## (2) 工業に関する教育

### ○教育目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### ○育成する人材像

単に生産性や効率のみを高めることにとどまらず、製品などが社会に及ぼす影響に責任をもち、ものづくりを通じて、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。

## ○育成を目指す資質・能力

### ①知識及び技術

- ・ものづくりに関する個別の事実に基づく知識、一定の手順や段階を追って身に付く個別の技術のみならず、相互に関連付けられるとともに、具体的なものづくりと結び付き、変化する状況や課題に応じて社会の中で主体的に活用することができる知識と技術
- ・将来の職業を見通して、さらに専門的な学習を続けることにつながる知識と技術

### ②思考力、判断力、表現力等

- ・工業の各分野などの学習を通して身に付けた様々な知識、技術などを活用し、地域や社会が健全で持続的に発展する上で、広い視野から工業に関する諸課題を発見する力
- ・情報化などが進展する社会において、変化の先行きを見通すことが難しい予測困難な時代を迎える中で、唯一絶対の答えがない課題に向き合い、単に生産性や効率のみを高めることだけを優先するだけではなく、技術者に求められる倫理観等を踏まえ、製品などが社会に及ぼす影響に責任をもち、工業技術の進展に対応した解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善することができる力

### ③学びに向かう力、人間性等

- ・工業技術が現代社会で果たす意義と役割を踏まえ、単に技術的課題を改善するだけではなく、ものづくりを通して社会に貢献する意識や、ものづくりに必要な職業人に求められる倫理観
- ・地域や社会の健全で持続的な発展を目指して工業の各分野について主体的に学ぶ態度
- ・絶え間のない技術革新などを踏まえ、既存の製品や生産プロセスを改善・改良するとともに、ものづくりにおける協働作業などを通してコミュニケーションを図り、異分野の技術を融合・組み合わせるなどして、新しい製品や生産プロセスを創造する中で、法規に基づいて工業の発展に責任をもって協働的に取り組む態度

## ○活性化・魅力化に向けた取組方策

### 【方策1】地域課題の解決に挑戦

- ①職業資格の取得や競技会への出場などを通して、自ら学ぶ意欲を高める教育活動を推進する。
- ②地域産業界や関係団体、行政機関との更なる連携強化を図り、インターンシップなどキャリア教育を推進する。
- ③自ら企画し、高い志を持ち、多様な他者と協働しながら新しい価値を生み出す主体性や創造性、起業家精神等を育成する起業家教育や6次産業化教育を推進する。
- ④グローバルな視点を取り入れた学習内容の充実を図る。

### 【方策2】先端技術に触れる教育の推進

- ①企業や高等教育機関等との積極的な連携を図り、先端技術に対応した工業に関する教育を推進する。
- ②技術革新に対応できる高い専門性と実践的な指導力を身に付けるため、企業や高等教育機関等を活用した教員研修の充実を図る。
- ③技術の高度化や情報技術の発展等に対応した学習内容の充実を図る。
- ④課題研究などにおいて\*STEAM教育を推進する。

### 【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進

- ①ものづくりにおける持続可能な開発のための教育（ESD）を推進する。
- ②環境問題や省エネルギーに対応した学習内容の充実を図る。
- ③防災やユニバーサルデザイン等の知識と技術に関する学習内容の充実を図る。

### 【方策4】工業に関する教育の効果的な魅力発信

- ①徳島県高校生産業教育展の更なる活性化を図る。
- ②小・中学生を対象とした出前授業や体験授業などの教育活動を充実し、工業に係る仕事の魅力をPRする。
- ③ICTを活用するなど、高校における工業に関する教育の魅力を情報発信する。

## （3）商業に関する教育

### ○教育目標

企業活動に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、ビジネスの適切な展開と関連付け、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### ○育成する人材像

グローバル化や情報技術の進展など時代の変化に対応するとともに、観光産業の振興、地域におけるビジネスの推進を踏まえ、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する。

## ○育成を目指す資質・能力

### ①知識及び技術

- ・マーケティング分野，マネジメント分野，会計分野，ビジネス情報分野における個別の事実的な知識，一定の手順や段階を追って身に付く個別の技術のみならず，それらが相互に関連付けられるとともに，具体的なビジネスと結び付くなどした，ビジネスの様々な場面で役に立つ知識と技術
- ・将来の職業を見通した，更なる専門的な学習の継続につながる知識と技術

### ②思考力，判断力，表現力等

- ・身に付けた様々な知識や技術などを活用し，ビジネスの実務における具体的な課題を発見する力
- ・企業活動が社会に及ぼす影響などを踏まえ，科学的根拠に基づいて工夫し，課題を解決する力

### ③学びに向かう力，人間性等

- ・社会の信頼を得て，ビジネスを展開する上で求められる倫理観，ビジネスを通して社会に貢献する意識
- ・ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を目指して主体的に学ぶ態度

## ○活性化・魅力化に向けた取組方策

### 【方策1】地域に根ざしたビジネス教育の推進

- ①ビジネスを円滑に進めることができるコミュニケーション能力を育成する。
- ②地域産業及び経済社会の実務に即した具体的なビジネス実践力を育成する。
- ③多様な人々と協働して新たな価値を創造していく力を育成する。
- ④世界の文化・商慣習の多様性を尊重し，地球規模で経済を俯瞰できるグローバルなビジネス人材を育成する。
- ⑤地域資源，観光資源を活用し，地域の活性化を担うグローバル人材を育成する。

### 【方策2】先端技術を活用した教育の推進

- ①経営資源（人的・物的・財務的・情動的資源）のマネジメントを行う能力と新たな物事にチャレンジする起業家精神を育成する。
- ②AIやビッグデータの活用方法を理解し，ビジネスに最大限活用できる人材を育成する。
- ③社会や産業の変化に柔軟に対応し，新たな分野を含めた専門スキルの向上を図るため，自ら学び続ける力を育成する。

### 【方策3】持続可能な社会づくりへ向けた教育の推進

- ①商業教育の特質を生かしたE S Dをより一層推進するとともに、防災をテーマにした商品企画・提案等の取組を進めることで、SDGsに貢献するための知識、技能、価値観、態度を備えた担い手を育成する。
- ②社会や職業で必要となる資質・能力を育成するとともに、キャリア教育の更なる充実を図る。
- ③専門の学び、資格取得や各種競技会等における取組を通して、ビジネスの様々な場面で役立つ知識・技術を身に付け、確かな学力の育成を図る。
- ④環境、経済、社会の統合的な発展につなげるため、他者と協力する力や多面的かつ総合的なものの見方を備えた人材を育成する。

### 【方策4】商業に関する教育の効果的な魅力発信

- ①多様な連携や様々な交流活動、販売実習等を通して、商業の学びを広く発信する。
- ②ソーシャルネットワークの活用を推進し、様々なデジタルコンテンツによる情報発信を積極的に図る。

#### (4) 6次産業化に対応した教育

##### ○農林水産業に関する教育を核とした6次産業化教育の推進

前方針の策定以前より、農林水産業に関する教育を行う学校では、生産（第1次産業分野）、加工（第2次産業分野）に関連する各科目の中で、販売（第3次産業分野）についても実習の一環として行われてきたが、生産、加工、販売が一体化した教育としては十分でなく、主に生産の分野に重点がおかれていた。また、農林水産業、工業、商業に関する教育を行っている学校において、各学校ごとに地域や企業との連携による商品開発や販売実習の取組や、例えば、農業高校で栽培した花を工業高校で製作した木製プランターに植えて、地域に提供するなど、それぞれの専門性を生かした、地域への貢献活動の取組も行われてきたが、分業であり、生徒間協働活動とはなっていなかった。

そこで、前方針では、少子高齢化による農林水産業における深刻化した担い手不足への対応策として、雇用を生む産業を創出し、地域の再生と活性化をもたらすことが期待される6次産業化に対応した教育の必要性が示され、これを受けて、産業分類を越えた6次産業化をプロデュースできる人材の育成を目的として、生産から販売までを総合的かつ一体的に捉え、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す6次産業化に対応した教育の推進を図ってきた。

具体的には、平成27年度に「農工商連携6次産業化プロデュース事業」を開始し、県央の農業・工業・商業科設置校において、従来からの専門分野の分業でなく、学科の枠を越えた学校間連携・生徒間協働活動により、農業科の生産物をテーマに、生産、商品開発、加工、販売を一体化した6次産業化に対応した教育を推進した。平成28年度からは、県央での成果を踏まえ、県南、県西へと拡充し、県下3地域それぞれの特性を生かした徳島ならではの6次産業化教育を展開している。

加えて、平成29年度には、単独で6次産業化に対応した教育を行う「アグリビジネス科」を城西高校の農業科に新設、また、平成30年度には、農工商が一体化した専門教育を行う高校として、阿南光高校を開校するとともに、各校において6次産業化教育を展開するために必要となる施設を整備するなど、6次産業化教育の更なる推進を図った。

地方創生に資する6次産業化教育を推進するに当たっては、農林水産業、工業、商業に関する教育の専門的な知識・技術の基礎・基本を身に付けた上で、他分野との連携を図ることで、他分野を知り、社会における自らの専門分野の役割や意義を再認識できるようにすることは重要である。

このため、学科の枠を越えた学校間連携・生徒間協働活動として実施してきた「6次産業化プロデュース事業」と同様の取組については、これまでの成果と課題を踏まえ、地域に根ざした、より実践的な活動となるよう、地域との連携を強化しつつ、引き続き、実施する必要がある。



今後は、学校間、地域や産業界等との連携による「地域製品のブランド化」や「地産地消」の取組はもとより、新たに、地域産品を海外や国内大都市に販売する「地産外消」や地域特産品を観光資源として活用する取組により、第1次産業での所得向上や地域への人の流れを創る新たなビジネスモデルの創出につながる6次産業化教育を展開することで、将来、地域の活性化につながる地域資源を活用した新たな産業の創出に貢献できる人材を育成する。

### ○育成する人材像

徳島の地域資源を活用した地域ブランドとなる商品開発を通して、地域を知り、地域の課題解決につながる探究的な学びへとつなげることのできる、グローバルな考え方を備え、地域ならではの新しい価値を創造することができる人材を育成する。

### ○活性化・魅力化に向けた取組方策

本県では、農林水産業、工業、商業に関する教育の枠を越えた様々な形態の連携による6次産業化教育の推進体制が整備されている。

農工商一体型の阿南光高校、1学科で農工商教育を展開できる城西高校アグリビジネス科をはじめ、2学科併設校である徳島科学技術高校（工業科、水産科）、吉野川高校（農業科、商業科）、つるぎ高校（工業科、商業科）では、高校ごとに新たな展開を図る。

学校間連携・生徒間協働活動による6次産業化教育においては、農林水産業に関する教育を行っている学校を核とし、工業、商業に関する教育を行っている学校との連携にとどまらず、地域の様々な人材や団体、産業界や大学等との連携を強化し、本県が誇る農林水産物や、観光地等の豊富な地域資源を活かした、より実践的な6次産業化教育を推進する。

また、地域を知り、地域課題の解決等を通じた探究的な学びを通して、各校の活性化、魅力化につなげるとともに、地域の活性化に貢献する農林水産業、工業、商業に関する教育を推進する。